平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年10月29日

上場会社名　日本デコラックス株式会社　　上場取引所　　名
コード番号　7950　　URL http://www.decoluxe.co.jp/
代表者　　(役職名) 代表取締役社長　　(氏名) 木村　重夫
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長　　(氏名) 石川　正直　　TEL 0587-93-2411
四半期報告書提出予定日　　平成27年11月12日　　配当支払開始予定日　　平成27年12月7日
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　無
四半期決算説明会開催の有無　　:　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績(累計)　　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	2,932	△1.9	372	18.0	387	18.0	254	21.8
27年3月期第2四半期	2,988	2.9	315	△9.7	328	△9.8	209	△2.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	31.38	—
27年3月期第2四半期	25.76	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	15,721	13,519	86.0	1,663.76
27年3月期	15,591	13,350	85.6	1,642.87

(参考)自己資本　　28年3月期第2四半期　13,519百万円　　27年3月期　13,350百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
28年3月期	—	8.00			
28年3月期(予想)			—	8.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　:　無

3. 平成28年 3月期の業績予想(平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,500	1.5	750	6.7	780	7.4	500	3.5	61.53

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　:　無

※　注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　有

（注）詳細は、添付資料P. 3「サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

② ①以外の会計方針の変更　：　無

③ 会計上の見積りの変更　：　無

④ 修正再表示　：　無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	8,930,000 株	27年3月期	8,930,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	803,828 株	27年3月期	803,546 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	8,126,314 株	27年3月期2Q	8,127,752 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 5
第２四半期累計期間 …… 5
（３）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 6
（継続企業の前提に関する注記） …… 6
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 6
４．補足情報 …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善が見られるものの、中国経済の減速や円安による輸入物価上昇は個人消費への悪影響を与えており、先行き不透明感は強まっており、景気は緩やかな回復基調から足踏みの状況にあるとみられます。

このような状況の下、当社のセグメント別の業績は、次のとおりであります。

＜建築材料事業＞

化粧板製品では、不燃メラミン化粧板「パニート」は、ホームセンター等の新たな販売ルートによる需要が拡大したことや、新設住宅着工件数は３月より対前年同月比で６ヶ月連続増加していることにより、販売は増加いたしました。しかし、高圧メラミン化粧板については、首都圏を中心にオフィスの移転・リニューアル需要が増加したものの、店舗やトイレブース市場での需要が低迷し、販売は減少いたしました。その結果、化粧板製品の売上高は2,011百万円（前年同四半期比98.1%）となりました。電子部品業界向け製品は、スマートフォン向けの需要は比較的堅調なものの、国内における自動車生産減少に伴う車載器向けの需要やパソコン関連の需要は低迷が続いており、当社のプリント基板用フェノール樹脂積層板の販売は減少いたしました。その結果、電子部品業界向け製品の売上高は350百万円（前年同四半期比96.6%）となりました。ケミカルアンカー製品は、厚生労働省が危険有害性情報として「発がんのおそれの疑い」、「生殖能又は胎児への悪影響のおそれ」等を注意喚起している「スチレン」を原材料に使用しない製品の開発に取り組み、４月より全製品が「スチレン」を原材料に使用しない製品に生まれ変わりました。またセメント（無機）系を主成分とし耐熱性に優れた「ＣＸタイプ」を６月に上市しました。しかし、学校耐震補強工事の発注件数が減少したため、販売は減少いたしました。その結果、ケミカルアンカー製品の売上高は448百万円（前年同四半期比88.4%）となりました。

これらの結果、建築材料事業セグメントの売上高は2,811百万円（前年同四半期比96.2%）となりました。

＜不動産事業＞

不動産事業では、前年９月に東京都に賃貸オフィスビルを取得し、当第２四半期累計期間の売上増加につながりました。その結果、不動産事業セグメントの売上高は121百万円（前年同四半期比180.5%）となりました。

全社の業績といたしましては、売上高は2,932百万円（前年同四半期比98.1%）、営業利益は372百万円（前年同四半期比118.0%）、経常利益は387百万円（前年同四半期比118.0%）、四半期純利益は254百万円（前年同四半期比121.8%）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第２四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて130百万円増加の15,721百万円となりました。これは主に、投資有価証券が減少したものの、現金及び預金や有価証券が増加したこと等によるものです。負債は前事業年度末に比べて39百万円減少の2,201百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が減少したこと等によるものです。また、純資産は前事業年度末に比べて169百万円増加の13,519百万円となりました。これは主に、四半期純利益を254百万円計上したこと等によるものです。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績につきましては、平成27年５月14日の「平成27年３月期 決算短信（非連結）」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第２四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成27年３月31日）	当第２四半期会計期間 （平成27年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,886,775	4,225,254
受取手形及び売掛金	2,368,930	2,075,035
有価証券	48,990	329,700
商品及び製品	243,775	296,052
仕掛品	52,930	58,506
原材料及び貯蔵品	289,603	343,102
その他	167,520	151,277
流動資産合計	7,058,526	7,478,929
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,685,773	2,623,303
土地	3,092,137	3,092,137
その他（純額）	800,561	832,071
有形固定資産合計	6,578,472	6,547,512
無形固定資産	20,230	23,222
投資その他の資産		
投資有価証券	1,560,738	1,298,607
その他	373,649	373,373
投資その他の資産合計	1,934,388	1,671,980
固定資産合計	8,533,091	8,242,715
資産合計	15,591,617	15,721,645
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	640,879	548,108
電子記録債務	609,376	548,674
未払法人税等	145,007	147,098
引当金	46,123	64,826
その他	259,624	371,553
流動負債合計	1,701,011	1,680,260
固定負債		
役員退職慰労引当金	269,705	275,897
その他	270,190	245,524
固定負債合計	539,895	521,421
負債合計	2,240,906	2,201,682
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,515,383	2,515,383
資本剰余金	2,305,533	2,305,533
利益剰余金	8,818,215	9,008,178
自己株式	△368,677	△368,840
株主資本合計	13,270,453	13,460,254
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	80,257	59,708
評価・換算差額等合計	80,257	59,708
純資産合計	13,350,710	13,519,962
負債純資産合計	15,591,617	15,721,645

（２）四半期損益計算書

（第２四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成26年４月１日 至　平成26年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成27年４月１日 至　平成27年９月30日）
売上高	2,988,731	2,932,913
売上原価	1,943,612	1,810,272
売上総利益	1,045,118	1,122,641
販売費及び一般管理費	729,688	750,482
営業利益	315,429	372,158
営業外収益		
受取利息	11,838	11,204
受取配当金	292	4,445
為替差益	1,923	－
受取賃貸料	5,907	6,077
その他	3,624	2,936
営業外収益合計	23,585	24,664
営業外費用		
支払利息	6	6
売上割引	8,945	7,562
賃貸費用	1,897	1,646
その他	40	385
営業外費用合計	10,890	9,602
経常利益	328,125	387,220
特別利益		
投資有価証券売却益	4,868	27,607
特別利益合計	4,868	27,607
特別損失		
投資有価証券評価損	－	23,638
固定資産除却損	48	0
特別損失合計	48	23,638
税引前四半期純利益	332,945	391,188
法人税等	123,561	136,213
四半期純利益	209,383	254,974

（３）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

４．補足情報

平成28年３月期第２四半期決算短信参考資料

１.平成28年３月期第２四半期の業績

（１）経営成績　（単位：千円未満切捨）

	前第２四半期累計期間（自　平成26年４月１日　至　平成26年９月30日）		当第２四半期累計期間（自　平成27年４月１日　至　平成27年９月30日）		前事業年度（自　平成26年４月１日　至　平成27年３月31日）	
	金額	前年同期比（%）	金額	前年同期比（%）	金額	前年同期比（%）
売上高	2,988,731	102.9	2,932,913	98.1	6,403,909	102.1
営業利益	315,429	90.3	372,158	118.0	702,965	94.4
経常利益	328,125	90.2	387,220	118.0	726,394	93.5
四半期（当期）純利益	209,383	97.7	254,974	121.8	483,087	123.2
1株当たり四半期（当期）純利益	25円76銭		31円38銭		59円44銭	

（２）セグメント別売上高

	売上高			コメント
	金額（百万円）	構成比（%）	増減率（%）	
建築材料事業				
化粧板製品	2,011	68.6	△1.9	不燃メラミン化粧板「パニート」は、ホームセンター等の新たな販売ルートによる需要が拡大したことや、新設住宅着工件数は３月より対前年同月比で６ヶ月連続増加していることにより、販売は増加いたしました。しかし、高圧メラミン化粧板については、首都圏を中心にオフィスの移転・リニューアル需要が増加したものの、店舗やトイレブース市場での需要が低迷し、販売は減少いたしました。
電子部品業界向け製品	350	11.9	△3.4	スマートフォン向けの需要は比較的堅調なものの、国内における自動車生産減少に伴う車載器向けの重要やパソコン関連の需要は低迷が続いており、当社のプリント基板用フェノール樹脂積層板の販売は減少いたしました。
ケミカルアンカー製品	448	15.3	△11.6	厚生労働省が危険有害性情報として「発がんのおそれの疑い」、「生殖能又は胎児への悪影響のおそれ」等を注意喚起している「スチレン」を原材料に使用しない製品の開発に取り組み、４月より全製品が「スチレン」を原材料に使用しない製品に生まれ変わりました。またセメント（無機）系を主成分とし耐熱性に優れた「ＣＸタイプ」を６月に上市しました。しかし、学校耐震補強工事の発注件数が減少したため、販売は減少いたしました。
小計	2,811	95.8	△3.8	
不動産事業	121	4.2	80.5	前年９月に東京都に賃貸オフィスビルを取得し、当第２四半期累計期間の売上増加につながりました。
合計	2,932	100.0	△1.9	

（３）業績の説明

業績につきましては、売上高売上原価率が61.7％と3.3ポイント改善いたしました。また、売上高販管費比率が25.6％と1.2ポイント悪化した結果、売上高営業利益率は2.1ポイント改善し12.7％となりました。

（４）設備について

工場の生産設備等に１億１百万円の投資を行いました。なお、当第２四半期累計期間における減価償却費は１億63百万円であります。

（５）配当金について

配当金につきましては、中間配当金として８円、年間配当金16円を予定しております。

（６）財政状況について

総資産157億21百万円、純資産135億19百万円、自己資本比率86.0％、１株当たり純資産1,663円76銭であります。

２．通期の見通し

（１）経営成績予想

売上高	65億円	対前期増減率	1.5％増
営業利益	７億50百万円	〃	6.7％増
経常利益	７億80百万円	〃	7.4％増
当期純利益	５億円	〃	3.5％増

（２）セグメント別売上高

（単位：百万円未満切捨）

	通期予想		
	金額	構成（%）	増減（%）
建築材料事業			
化粧板製品	4,540	69.9	2.2
電子部品業界向け製品	730	11.2	0.3
ケミカルアンカー製品	980	15.1	△5.2
小計	6,250	96.2	0.8
不動産事業	250	3.8	23.7
合計	6,500	100.0	1.5

（３）設備投資について

当下半期の設備投資は、主に工場の生産設備等に２億26百万円の投資を予定しております。

なお、通期の減価償却費として３億51百万円を予定しております。